

平成23年度第2回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

1 日 時 平成23年9月6日(火) 13時30分～16時

2 場 所 さぬき市役所3階302会議室

3 出席者

【委員】柿木委員 亀井委員 工藤委員 小山委員 白井委員 谷 委員
筒井委員 細川委員 宮本委員

【事務局】総務部政策課 向井課長外1名

【傍聴】0名

4 会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 男女共同参画週間パネル展・ミニイベントについて【報告】

(2) 男女共同参画推進活動事業市民企画事業について【報告】

(3) 男女共同参画プラン後期計画進捗状況調査について【報告】

(4) 第2回男女共同参画セミナーについて

(5) 次回会議のスケジュールについて

4 その他

5 閉会

5 配布資料

資料1 平成23年度男女共同参画週間パネル展をふりかえって

資料2 平成23年度第1回男女共同参画セミナー

「その仕事をするのは だ～れだ だれだ？」をふりかえって

資料3 平成23年度男女共同参画推進活動事業採用事業一覧

資料4 さぬき市男女共同参画プラン後期計画 推進施策の実施状況及び
基本施策に係る各目標の進行状況(平成22年度)

資料5 平成23年度第2回男女共同参画セミナー実施要項(案)

資料6 セミナーちらし(案)

資料7 平成23年度DV・児童虐待防止キャンペーン実施要項(案)

6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(13:30) 定刻がきたので開会する。原則公開の会議なので、今はいないが、傍聴希望者が来た場合は随時入っていただくのでよろしく願いしたい。
会長	<挨拶>
事務局	これからの進行は、会長にお願いする。
会長	では、議題に入る。議題1「男女共同参画週間パネル展・ミニイベント」について、事務局、報告をお願いする。
事務局	資料1・2を使って報告

会長	意見や参加者からの感想などがあればお願いします。
委員	どこまで理解ができていたかは不安だが、子どもたちが（男女共同参画の視点にたった）いろんな話を聞くことができ、楽しんでいたのでよかった、という声をお母さん方からたくさん聞いた。ただ、お母さん方自身がどの位置にいるのかが分かりづらかったという声があった。幼児まで参加したイベントだったが、子どもたちは結構理解しているんだな、という感じがした。これからも、いろいろなイベントを掘り下げて実施していけば効果的な推進ができるのでは、と感じるきっかけになった。
委員	土日は小学校が休みなので、子どもと保護者を対象にしたイベントをしてくれるのはありがたいのだが、子どもたちが行きたいと思わせるようなことを加えてもらえればなおいいという声があった。社会福祉協議会や地区の関係であれば、子どもが集まるイベントであれば、ヨーヨーやポップコーンを準備しているそう。そういうものがあれば、子どもたちがイベント中に時間をもてあますこともないので連れてきやすいそうである。また、「イベントに夫を連れてきたかった」という声もあった。家庭に戻ったときに、一番（男女共同参画について）知ってもらいたい人に話が届いていないんじゃないかな、ということであった。
委員	「市役所のイベントに参加しようね」ということについて、家庭内でどのような話をして決まったのだろうか。夫が来ていないということは、参加の決定は、妻と子どもだけで話し合っただけなのか、それとも、夫にも伝えたが事情があって来なかったのかが見えてこない。
委員	土日も仕事が多い家庭が多いので、母親と子どもで決めているケースが多い。
委員	家族で話し合うところから、男女共同参画が広がっていくのだと思う。当日のイベントは、ほほえましかったし、楽しかったと思うので、効果があったとは思っている。来年も再来年もあるので、今回のようなイベントを企画するのはいいと思う。ただ、アナウンスの仕方も考えてみてほしいが、多ければいいということもないだろう。
事務局	スタッフのことを考えると、現実的には、今回の規模が限界だと思う。また、行政が、男女共同参画の推進のために行うイベントに、ヨーヨーやポップコーンで参加を促すということがいいのかどうかについては、議論が必要だと思う。
会長	続いて、議題2「男女共同参画推進活動事業市民企画事業」について、事務局、報告をお願いします。
事務局	資料3を使って報告
会長	まずは、協議会選出の審査員としての感想をお願いします。
委員	どの団体も工夫を凝らしていたと思う。 （採用事業の1つである）8月18日の講演会には参加した。話の内容はとてもよかった。突然の災害が起こったことを考えると、意識を高めておくべきだと思うが、あの講演会には女性がたくさんきていたが、市の職員がほとんど見当たらなかった。なぜなのだろう。災害対策は、市全体の課題として考えておかなければならないが、あのような講演会を企画したことには意味があると思う。中には、（男

	女共同参画との関係が)多少分かりづらい企画もあったが、全ての事業において期待している。
会長	委員の中には、応募団体のメンバーもいると思うが、初めての取組であるヒヤリングを受けてみてどうであったか？
委員	ヒヤリングをした立場から言うと、受けるほうは、資料や気持ちの準備が大変だったと思う。
会長	ヒヤリングを受けた人からの感想を一言だけ言うと、「頑張れという意味もあったのだろうが、欠点を指摘するよりは、少しは、いいところを認めてくれたヒヤリングがあれば意欲が沸くのかな」という感想があった。 事務局からの感想も願います。
事務局	男女共同参画推進活動事業に資する事業として、その目的に合っているのかどうかということに主眼をおいてヒヤリングをした。(採用事業の中には)もし、募集枠以上の応募があった場合採用となったかどうか分からないような事業もあったが、応募団体の皆さんが工夫して、一生懸命取り組まれているので、なんとかして実施していただきたいという思いで最終的な結果を出した。
会長	ヒヤリングをするかどうかを、募集段階で周知しておけば、応募団体の不安も少しは解消されたと思う。行政が募集する事業は、だいたいがプレゼンテーションを行っているのが通常だと思うので、今後はその方法で願います。
事務局	今回のヒヤリングの実施については、企画書を見ながら、分かりづらいところがあれば個別に事務局から伺ってもよかったのだが、趣旨や、どういったところが男女共同参画につながるのか、などを確認したいところまでできたので、それならば全応募団体を対象にヒヤリングを行おうということになった。来年度以降は、最初からお伝えするように努めたい。
委員	日程についても早めの周知をお願いします。
会長	続いて議題3「男女共同参画プラン後期計画進捗状況調査」について、事務局、報告をお願いします。
事務局	資料4を使って報告
会長	意見を願います。
会長	阪神淡路大震災以降、防災計画の作成には男女共同参画の視点が大切だ、との意識は高まっているが、さぬき市の実態は4ページにあるとおりだ。国や県も、男性による会議が多く、女性は炊き出しなどの性別役割分担意識が根強い。女性委員の人数を、少しずつでも、意図的に増やしていかないといけないと思う。 また、本市における男女共同参画の推進には、庁内の推進体制の充実も必要だ。推進体制が充実していれば、例えば、男女共同参画の事業に参加するための庁内への働きかけもでき、それに関わる職員が参加しやすいのではないか。この予算や推進体制ではそれさえ難しいと思うので、まずは政策課で取り組んでもらい、協議会も参画していければいいと思う。

事務局	男女共同参画に関する事業については政策課が把握しているので、所管課として、責任をもって庁内周知を心がけていきたいと思う。
会長	続いて議題4「第2回男女共同参画セミナー」について、事務局、説明をお願いします。
事務局	資料5・6・7を使って説明
会長	意見ををお願いします。
委員	キャンペーンは1か所ではなく、広くお知らせできるように、海側と山側で1か所ずつお願いしたい。
委員	今年だけで終わらず、来年も行うようして、もちまわりで実施すればいいのではないか。人権擁護委員が行っているキャンペーンも、毎年12月に、場所を変えながら行っている。
事務局	グッズの作成個数の問題もあるが、できるだけ継続したいと考えている。その際には、キャンペーン場所にも配慮したい。
会長	当日の内容だが、できれば、被害者に会ったときにどうすればいいかが具体的に分かるように、講師に助言をもらいながら、被害者と相談者の立場にたったロールプレイを試してみるなどはいかがか。いざとなったときに役立つと思う。
事務局	了解した。講師と相談してみる。
会長	DVと児童虐待についても、子どもの役とDVをする夫婦の役でロールプレイをしてみて、子ども役の方に(子どもの)気持ちはどうだったかを発表してもらうのもいいかもしれない。(二つの問題が)切り離した問題でないということが分かりやすいかもしれない。参加者が、何かを感じてもらえるセミナーになればいい。
委員	言葉や態度の暴力にも触れてもいいかもしれない。どういうことがDVになるのか、事例も含めて、基本的なことも学べればいい。
事務局	皆さんの意見を参考に、実際にあった被害の実情もあわせた基本的な内容と、もう少し踏み込んだケーススタディを組み合わせたセミナーにできるように講師と話し合ってみる。
会長	キャンペーンの場所は1カ所にするのか。150個はあっという間に配り終わると思うが。
事務局	市内のどこかの量販店1カ所で行うつもりである。例年の取組につなげられるように、グッズについては、出し惜しみして150個と記載している。グッズの完成を待って、適当な個数を検討してみる。
委員	オレンジリボンやパープルリボンのバッジなどの関連グッズは売らないのか？
事務局	物販は考えていなかったが、検討してみる。

会長	最後に、今日の会議を降り返ってなど、発言をお願いします。
委員	市民企画事業に新規で応募した団体はあるのか。
事務局	3 団体ある。
委員	農業委員会の選挙が先日あったが、女性は2人。どちらも選任であった。男女共同参画の意識はあっても、(自主的に参画するのは)現実的には難しい。地道な推進活動が欠かせない。地域の女性の参画は限界に近づいているのかもしれないが、女性自身が手をあげて頑張ってもらえれば、なお推進できると思う。会議などで話し合ったことを地域で広げる取組が大事だ。
委員	警察は防犯教室や交通安全教室を小学校で行っている。小学校5・6年ぐらいを対象にして(啓発活動を)行うのが、意識を高める効果が一番高いそうである。男女共同参画の意識改革を高める効果があるのはどの年齢かを考え、どのような具体的な事業を行っていくかを来年度に向けて探っていくべきだと思う。ぼちぼち読本にあるようなチェックシートの小学校版を作って出前講座をもつなど、(身体的にも)男女意識の差が開いてくる5・6年生ぐらいに、集中的に男女共同参画の意識化をはかっていく事業を展開できたら素晴らしいと思う。高齢になれば、意識を変えるのはなかなか難しい。警察のように、一番効果的な年代を狙うよう、教育委員会とタイアップしてモデル事業を行い、アンケートをとれば、(モデル事業を)やっている学校とやっていない学校で意識の差がおのずから出ると思う。そのデータをもってさらに切り込んでいくことができれば理想かと思う。
会長	では、「次回会議のスケジュール」について、事務局説明をお願いします。
事務局	次回開催予定時期(12月中旬頃)などを説明
会長	その他の連絡はあるか?
事務局	なし
会長	以上で第2回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会する。(16:00)